

会 議 録

1 会議名

平成27年度第9回新道区地域協議会

2 協議事項（公開・非公開の別）

○自主的審議に繋げるための新道区の現状分析について（公開）

3 開催日時

平成27年12月2日（水）午後6時30分から7時50分時まで

4 開催場所

公民館新道分館 和室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯塚計一、岩下知彦（副会長）、上野洋一、岡田竹一（会長）
金井秀雄、金子俊一（副会長）、田中正一、塚田忠次、船崎正保
保坂幸二、松苗ひとみ（欠席3人）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長

8 発言の内容（要旨）

【恩田係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

はじめに、本日の流れ等についてご案内する。

先日、正副会長と事務局、そして本日お越しいただいている新道南部地区町内会長協議会長の檜木会長（子安町内会長）と、中部地区協議会長の中山会長（稲田3丁目町内会長）、地域協議会委員で北部地区協議会長の田中委員（上島町内会長）、合わせて8人で地域協議会の今後の展開について相談させていただいた。

地域協議会では、これまで3回に亘って、委員の皆さんのお住いの地域、南部・中

部・北部地区に分かれて、地域の課題や解決策について、各グループで話し合いを重ねてきた。

皆さんに配布している検討シートは、まだ十分にそれぞれの項目が埋まった状態ではないが、皆さんの任期も残り僅かであるので、皆さんが検討されてきたことが、広く地域で共有され、今後の新道区の具体の取組みにつなげていきたいということで、来年1月に新道地区の全町内会長と地域協議会委員による意見交換会を開催する方向で調整を進めていただくことになった。

町内会長の皆さんへは、来週金曜日に予定されている町内会長会の研修会の際にお話しする予定だ。新道地区には、22の町内会があるので、意見交換は全員一緒に行うのではなく、北部・中部・南部の3グループに分かれて進めていただく形をイメージしている。

本日は、檜木会長と中山会長からも各地区のグループ討議に参加いただく。町内会や地域の実情等の助言をいただきながら、検討シートを煮詰めていただきたい。グループ討議は、7時半までを目途として、これまでと同様に各グループの代表から、検討シートに印字されていない本日新たに加わった事柄を発表いただきたい。

この検討シートは、本日の結果を反映させて、来年1月の意見交換会の際に皆さんに配布し、記載内容を話題にしていただきながら意見交換を行っていただく予定である。

【岡田会長】

- ・挨拶

【恩田係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により会長に議長を委任

【岡田会長】

- ・会議録の確認：船崎委員に依頼

協議事項の「自主的審議に繋げるための新道区の現状分析について」話し合う。本日は、南部地区は檜木会長、中部地区は中山会長からも参加いただき、グループ討議を行うが、質問等はあるか。

(質問等なし)

それでは、意見交換会を始める。午後7時30分頃にグループごとの進捗状況を確認する。

(南部・中部・北部の各グループに50分程度意見交換)

【岡田会長】

それでは各グループで話し合われた内容を発表していきたい。

まずは北部について私から発表する。

「町内会や地域でできること」では、まずは地元から声を上げようということだ。新道北部は元農村なので、農道から市道に昇格した道路が多く、整備が必要である。土地を提供してもらえそうな取組をしなければならない。

2つ目は富岡小学校のグラウンドの拡張だ。80メートルしか直線がないので、北側の民有地を買収して整備できないか。

3つ目は北部には公園がないので、避難所としても使える公園が必要だ。

4つ目は、県道と市道に塗られているグリーンラインは、片側しか塗られていない。学校は右側通行を指導しているため、登校の時はよいが、下校の時はグリーンラインの塗られていない方を歩いているので、両側にグリーンラインを敷く必要があるのではないかということだ。

【岩下副会長】

中部地区について発表する。

「町内会や地域でできること」では、稲田商店街と光明寺の衰退についてどうしたらよいかということ話し合った。稲田商店街の組合は11月に解散したのだが、中心的に活動されていたタンス店の経営者とお話して、商店街を今後どうしていったらよいかの話をしたと思う。雁木にお茶をだすような休み処を作ったらどうかということをお話しできればと思っている。また、昔行われていた光明寺の「おたや(報恩講)」はとても賑やかな行事であった。「おたや」について光明寺の役員の方と話をするとということも考えている。

子ども会や青年会、婦人会が稲田の各町内にあるので、合同で集まっていただいて、どういうふうにしたら稲田を活性化できるのかを話し合う場を設けることに決めた。また、稲田祇園祭をもう少し賑やかにしたらどうかという話も出たので、稲田祇園祭奉賛会とも話し合いをしていくということで検討していく。

空き家問題については、解決策が浮かばないが、稲田には雪が積もれば潰れそうな空き家が2軒ある。行政とも話合い、何とかしていきたいと思う。

【金子副会長】

南部の結果を発表する。

「町内会や地域でできること」については、1人暮らしの見守りということで、昔から「向こう3軒両隣」ということも言われており、民生委員もいる。子安町内会のある班では、年に1回新年会のような催しをして、班の人が一堂に会して交流を深めている。そういう取組を広げていったらよいのではないか。一番の問題は誰が声をかけるのかということで、これから考えていかなければいけない。

南部の6町内会では避難訓練を1年おきに合同で行い、合同訓練を行わない年は各町内会単位で避難訓練を行っているので、毎年避難訓練を行っていることになる。

冬場の鴨島1丁目の県道は消雪パイプが埋設されているために除雪車両が入らない。消雪パイプの水が当たっている所は溶けるが、当たらないところは雪が残ってしまい、子どもたちは雪を避けて登下校するために、車と接触しそうになっているのが現実だ。その辺をどうするかということだが、昔の大道用水に蓋をして歩道にするという意見もあるが、住民の賛同が得られない。難しいかもしれないが今後も説得を続けていかなければならない。

道路除雪は登校時間の関係で最初に歩道を除雪してから車道を除雪することになっている。歩道除雪を先にしてから車道除雪をすると、歩道の入り口が雪山になってしまい、子どもたちが駆けずり登っている現状がある。どうしたらよいのかと思っている。また、除雪業者によって、2車線分の道路幅があるのに1車線分の幅になってしまう。町内会長から行政にお願いするようなこともやっていかなければいけない。

【塚田委員】

除雪については、道路をなるべく広げてもらうようにしてもらえるとありがたいと思う。

【田中委員】

11月19日に除雪会議があり、町内会長が参加し業者へ要望している。

【塚田委員】

町内会長を通して市へ連絡してもらえればよいのだが、個人的に連絡をしてしまう。それが、かえってよくない。

【岡田会長】

本日各グループで話合った内容を踏まえて、検討シートを調整し事務局と正副会長、町内会長協議会で調整を進めていく。

事務局に補足説明を求める。

【恩田係長】

開催日候補については、1月21日（木曜）か25日（月曜）を候補日として調整を進めている。日程等が決まり次第、皆さんにお知らせする。

【岡田会長】

・次回の協議：今日は決定せずに、後日決定しだいお知らせする

【恩田係長】

事務連絡

【岡田会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。